

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪城公園ほか3施設
施設所管課・担当	建設局公園緑化部調整課公園活性化担当
条例上の設置目的	市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保を目的とする。
業務の概要	大阪城公園・大阪城野球場・大阪城西の丸庭園・豊松庵の管理運営・維持管理に関する業務（利用案内・受付、要望・苦情対応、園内施設管理、関係機関との連絡調整等）・魅力向上事業に関する業務
成果指標	大阪城公園利用者への満足度調査結果、大阪城野球場・大阪城西の丸庭園・豊松庵の利用者（件）数、大阪城公園本丸エリアへの来園者数（推計）、大阪城公園への来園者数（推計）、本市への納付金額
数値目標	大阪城公園本丸エリアへの来園者数（推計） 618万人以上 大阪城公園への来園者数（推計） 1,293万人以上 大阪城野球場 年間利用件数 1,000件以上 大阪城西の丸庭園 年間有料入園者数 220,000人以上 豊松庵 年間利用件数 160件以上 大阪城公園利用者への満足度調査結果 85%以上
指定管理者名	大阪城パークマネジメント共同事業体 【構成員】 大阪城パークマネジメント株式会社 株式会社電通 讀賣テレビ放送株式会社 大和ハウス工業株式会社 大和リース株式会社 株式会社NTTファシリティーズ
指定期間	平成27年4月1日 ～ 令和17年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	来園者数 （本丸エリア）	来園者数 （大阪城公園）	利用件数 （大阪城野球場）	有料入園者数 （西の丸庭園）	利用件数 （豊松庵）	利用者満足度 （大阪城公園）
数値目標	618万人以上	1,293万人以上	1,000件以上	220,000人以上	160件以上	85%以上
年度実績	677万人	1,381万人	803件	261,506人	130件	89.6%
達成率	109.5%	106.8%	80.3%	118.9%	81.3%	105.4%

利用状況

利用状況	大阪城野球場	西の丸庭園	豊松庵
	利用件数	利用人数	利用件数
当年度	803件	261,506人	130件
前年度	962件	188,122人	96件
前年度比(差)	83.4%(-159件)	139.0%(73,384人)	135.4%(34件)

令和7年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	－	－	－	
	計画	－	－		
利用料金収入	実績	572,114,411	589,113,810	▲ 74,751,589	団体旅行者の減少や大阪城ホール改修工事（令和8年1月15日から28日）による駐車場収入が減少したため。
	計画	646,866,000	557,033,000		
その他収入 （自主事業収入等）	実績	1,240,698,514	1,161,437,850	59,473,514	訪日外国人旅行者等の来園者の増加に伴う売店、露店、MIRAIZA OSAKA-JO及びJO-TERRACE OSAKAにおける自主事業収入が増加したため。
	計画	1,181,225,000	1,061,588,000		
営業外収益	実績	3,147,991	5,264,027	3,147,991	本市設置設備への日常管理負担金及び雑収入等が発生したため。
	計画	0	0		
合計	実績	1,815,960,916	1,755,815,687	▲ 12,130,084	
	計画	1,828,091,000	1,618,621,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	397,716,178	373,670,860	13,198,178	訪日外国人旅行者等の来園者の増加及び物価高騰に伴う人件費が増加したため。
	計画	384,518,000	364,842,000		
物件費	実績	97,483,117	115,469,051	▲ 89,515,883	本市との施工調整による補修計画の見直しにより改修費が減少したため。
	計画	186,999,000	191,780,000		
その他事業費 （自主事業支出等）	実績	465,821,150	468,580,931	▲ 62,631,850	MIRAIZA OSAKA-JO及びJO-TERRACE OSAKAにおける諸経費の削減による自主事業支出が減少したため。
	計画	528,453,000	495,400,000		
営業外費用	実績	694,293	5,749,754	694,293	支払補填金及び商品・売上金の過不足が発生したため。
	計画	0	0		
合計	実績	961,714,738	963,470,596	▲ 138,255,262	
	計画	1,099,970,000	1,052,022,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
来園者数（本丸エリア）	109.5%	B	
来園者数（大阪城公園）	106.8%	B	
利用件数（大阪城野球場）	80.3%	C	太陽の広場で万博関連の長期イベントが開催されたことにより、従来のイベント件数が減少したことやダッグアウトの使用禁止により、利用件数が伸び悩んだため。
有料入園者数（西の丸庭園）	118.9%	A	来園者数の増加に伴って大幅に増加したため。
利用件数（豊松庵）	81.3%	C	前年度の迎賓館の本市改修工事（令和6年12月から令和7年3月）に伴う閉館の影響により、迎賓館とセットで利用される利用件数が伸び悩んだため。
利用者満足度（大阪城公園）	105.4%	B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
基本納付金に加えて、計画以上の変動納付金を本市に収めていた。	A	本市が求める水準以上の効果が得られたため、「A」とした。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・クビアカツヤカミキリに対する予防対策として、ウメ、モモ、サクラ全数に薬剤散布を行っていた。 ・園内で倒木があったことを受け、樹木の緊急点検を実施し、安全確保に努めていた。 ・西の丸庭園について、出口通路部のアスファルト化や案内看板の更新に加えて、入園手続きにおいてキャッシュレス対応を可能にし、来園者の利便性向上を図っていた。 ・概ね本市が求める水準どおりであったため、「B」とした。
事業計画の実施状況	B	・森ノ宮旧せせらぎ中央部分の花壇やJO－TERRACE OSAKA等で連携し、七夕飾りやクリスマスイルミネーションを行い、四季折々の景観の演出を図っていた。 ・MIRAIZA OSAKA-JOにおいては、「生きた建築フェスティバル2025」に参加し、ガイドツアーを実施して近代建築の魅力を発信していた。 ・概ね本市が求める水準どおりであったため、「B」とした。
施設の有効利用	B	・MIRAIZA OSAKA-JOの玄関口には、天守閣やJO－TERRACE OSAKA、大阪城パークセンターと情報共有し、大阪観光情報を含めた幅広い情報を集約したインフォメーションを設置しており、園内の回遊性の向上を図っていた。同施設1階南側には大阪城公園の歴史を解説した展示エリアを設けて、本丸エリアを訪れる来園者に対し、歴史公園としての魅力を発信していた。 ・概ね本市が求める水準どおりであったため、「B」とした。
社会的責任・市の施策との整合性	A	・東外堀における清掃活動等、市民の方々や企業におけるCSR活動と一体となって公園美化の推進を図っていた。 ・大阪・関西万博の連携施策として実施されたブルーインパルス飛行時は、西の丸庭園を無料開放し、多くの来園者に楽しんでもいただけるよう協力していた。また、太陽の広場では大阪市主催のグルメEXPOが開催され、イベント成功に向けて協力していた。 ・大阪・関西万博のPRとして大阪市によるドローンショーを行った際には、運営のサポートを行っていた。 ・本市が求める水準以上の効果が得られたため、「A」とした。

令和7年度 指定管理者年度評価シート

4-2 魅力向上事業の達成状況

・「謎解きゲーム」、「観桜ナイター4」、「御座船」、「令和7年重要文化財大阪城の櫓YAGURA特別公開」（多聞櫓・千貫櫓・乾櫓）、「大阪城森のパーベキュー」、「大阪城イルミネージュ」、「東大番衆小屋跡にぎわいイベント」等の継続的なイベントの開催に加えて、「天守閣秋祭り」を始めとした新規イベントも開催し、賑わいを創出していた。
・梅林でのライトアップや茶店の夜間営業とともに石垣へのプロジェクションマッピングを行い、梅林エリアの更なる魅力向上に取り組んでいた。
・JO-TERRACE OSAKAにおいては、24店舗（空き区画1）で営業しており、噴水パレットによる水遊びイベントを前年度よりエリアを拡大し、開催していた。ミストエリアを新たに設置し、幅広い年齢層の方にも利用されるよう工夫を行っていた。
・地元来園者の多い森ノ宮噴水エリアにおいては、全ての店舗（ローソン、アールペイカー、スターバックス、ポーネルンドプレイヴィル）において売上・客数とも好調であった。

5 利用者ニーズ・満足度等

令和7年10月24日（金）から26日（日）にかけて満足度調査を実施した。
「本日、大阪城公園にご来園されての満足度を教えてください」との設問に対し、非常に満足・まあまあ満足・普通・あまり満足でない・不満足の5段階評価を行った結果、1,937名の回答を得ることができ、その内、非常に満足・まあまあ満足の回答が89.6%を占めた。

6 外部専門家意見

・市費の縮減に係る取組状況については、基本納付金に加えて、変動納付金を納めており、非常に評価できる。
・園内のサインについては一定整理ができており、評価できる。
・収支計画と実績の乖離について、次年度の計画策定時に実績に即した精緻な計画を立て、乖離の縮小に努められたい。
・観光客が今後も増えてくることを想定したオーバーツーリズムに対する対策と併せて公園の上位計画やデジタル化にも対応できるよう備えられたい。
・今後も国際観光客がいっそう増加することが想定されるので、観光客の受け入れに関する課題に対応する公園整備と、市民にも愛され利用される続ける公園づくりとの両立に努められたい。
・ナイトコンテンツについては、今後も引き続き検討されたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・概ね本市が求める水準どおりであったため、「B」とした。
市費の縮減	A	・本市が求める水準以上の効果が得られたため、「A」とした。
管理運営の履行状況	B+	・クビアカツヤカミキリ対策として園内全体のウメ・モモ・サクラに対し、予防のための薬剤散布を行っており、評価できる。 ・大阪・関西万博の開催に伴う本市事業について協力や運営のサポートを行い、高く評価できる。 ・概ね本市が求める水準どおりであり、評価すべき良点が認められるため、「B+」とした。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	・本市が求める水準以上の効果が得られたため、「A」とした。